

三鷹市立中原小学校 令和5年度【図画工作】科 授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第1学年		<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○多くの児童が、道具や教材に興味をもち、意欲的に取り組んでいる。 ○導入部で全体で活動に必要な様々な動き（紙の折り方や切り方、粘土をのぼしたりねじったりするなど）を経験させることで、作品の広がりをもたせられるようにしているが、道具の扱いなどに課題が見られる児童はいる。 ○友達と作品を見合い、良さを見つけ、伝えることができている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○話を聞くことができず、やり方を間違える児童が多い。 	
第2学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○カッターナイフの使い方など用具の使い方等繰り返し練習することでイメージ通りに表現できる子が増えた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アイデアスケッチをすることでオリジナルの作品になる子もいれば、手本の真似になってしまう子がいる。 	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○めあてに対して、のびのびと楽しそうに取り組む児童が多く、関心・意欲が高い。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①イメージしたものが思い通りにならず、支援が必要な児童のために材料の使い方についての指導が必要である。 ②はさみやのり、絵の具の扱いなどに課題の見られる児童がいる。カッターナイフの取り扱いや版画などのいろいろな用具の取り扱い時には、安全面や汚れに注意する必要がある。 	
第3学年	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○意欲的に取り組む児童が多いが、板書や全体指導で活動内容に見直しをもつことが難しい児童もいる。 ○考え、応用する経験が不足している。 	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○多くの児童が意欲的に取り組んでいる。 ○いろいろな道具や材料とかかわり経験することを楽しんでいる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○発想力に課題がみられる児童が多い。 ○すでに経験している道具、材料の扱いに課題がみられる児童がいる。 	
第4学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○意欲的に授業に取り組むことができている児童が多い。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○発想したり思いを表すことができる児童と、できない児童の差が大きい。 	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動に意欲的に取り組むことができている児童が多いが全く取り組むことができない児童もいる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①参考作品や画像を模倣して作ることはできるが、テーマや用具、材料の特徴に合わせた発想をすることが苦手な児童もいる。 ②初めて扱う道具や技法に対して理解し活用できるまでに時間のかかる児童や個別に支援が必要な児童もいる。 	
第5学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業規律、安全に配慮しながら授業に臨む態度が身に付き落ち着いて活動できる児童がふえた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○材料や用具、テーマにそって作品づくりに取り組むことができる児童がふたが、発想を広げることが苦手な児童もいる。 	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○落ち着き活動できる児童がふえた。 ○初めての用具や材料に積極的にかかわり活動できる児童が多い。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 説明を聞いていない、理解できないなどの理由から授業課題に正対できていない児童もいる。 ②知識、技能を深め工夫していくことができない児童もいる。 	
第6学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○過去に経験した道具や材料を活用して新しい題材に取り組むことのできる児童が増えた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○説明やタブレットを活用することで、課題にそって作業を進めることのできる児童が多いが、考えを深めていくことが苦手な児童もいる。 	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業の目当てや課題にそって活動を進めることができる児童が多い。 ○題材に合わせて着想し、発想を広げることのできる児童が増えた。 ○過去に経験した道具や材料の特徴を生かして、新しい課題に活かすことのできる児童が増えた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①授業に対する意欲が低く活動が深まらない児童もおり、技能や理解力に課題のみられる児童もいる。 ②参考作品の模倣など安易な作品をつくる児童もいる。 	